

◆◆◆ 今の私の働き方 ◆◆◆

私は2児の母で、昨年春に大学院を修了し、現在大学病院で手外科を診療しています。主人も整形外科医で多忙のため、基本的にひとりで家事育児を行っています。現在9時から17時までの勤務をしており、「活躍する女性医師」とは程遠い現状ですが、多様な働き方のひとつとして参考にいただければ幸いです。

私は大学院在学中に第二子を出産しました。育児に追われていましたが、自宅で研究が可能だったこと、テーマに恵まれていたことが幸いし、第60回日本手外科学会で最優秀発表賞をいただき、国内外で発表する機会が得られました。大学院へ進むメリットのひとつは、論理的な思考の訓練ができることです。その能力は財産になります。ただ、楽な道では決してありません。起こりうるライフイベントを念頭に置き、しっかりとした研究計画を立て、指導者と定期的に進捗を確認できる環境を作ることが大切です。

現在、私が限られた時間で勤務すること

が可能な理由は、琉球大学整形外科のご理解ある温かいチームのおかげです。寛容で強力なサポートには感謝してもしきれません。具体的には、グループカンファレンスを診療時間内に行う、私の手術を早い時間に入れる、常に情報を共有し私が不在時には代わっていただく、などです。勤務時間に制限のある者は、責任のある仕事を避けがち(いわゆるマミートラックに陥りがち)ですが、そのような状態では長く仕事を続けられないと実感しています。不安やプレッシャーはありますが、周りの方々にご協力をいただき、自身も様々な工夫をして責務を引き受けていくことが必要だと思います。

限られた時間内での勤務に必要な力を挙げるとすれば、コミュニケーション力と集中力だと思います。チームの方々への感謝の念を忘れないこと、情報を共有すること、短時間に集中することです。情報共有にはパワーポイントを用いた症例提示(いつでも、どこでも見直すことができます)やSNS、スケジュールのクラウド化などのITが助け

になります。集中力を鍛えるため、to doリストを作る、短時間で論文を読む、時間を区切ってタスクをする、などの工夫をしています。家に帰れば母親という別の仕事があるので、「今しかない」という思いで取り組んでいます。

このように、周りの方々に助けていただきながら何とか日々をやりくりし、やりがいをもって仕事をしています。整形外科が好き、手外科が好き、患者さんを助けたい、仲間の役に立ちたい、そんな思いが原動力です。それは育児を始めるずっと前の、研修医の頃から着々と培われた情熱です。若い皆様はどうぞ、将来を憂うことなく、目の前にある仕事に一生懸命取り組んでください。長い人生には色々なことがありますが、若いころに灯した情熱が、きっと将来も原動力となり、あなたを支えるにちがいありません。